

しんすい
親水コース

初級者向け

二郷半領用水路と中川周辺、庄内古川旧堤防を歩く

歩行距離 **6.0km** 歩数 **約10,000歩**
歩行時間 **2時間00分** 消費カロリー **約310キロカロリー**

※消費カロリーは、体重50kgの人が3km/hで歩いた場合

スタート	田島バス停
① 田島神社	8分 0.4km
② 八間堀松高樋管	24分 1.2km
③ 庄内古川旧堤防	16分 0.8km
④ 十九夜供養塔	18分 0.9km
⑤ 新利根川碑	8分 0.4km
ゴール	田島バス停
	46分 2.3km

田島地区と金杉地区の南部を歩くコースです。中川、江戸川の堤防や庄内古川の旧堤防は、周辺より一段高くなっているため眺めがよく、足元にはたくさんの草花を見ることができます。また、古い歴史を持つ神社から大正時代に竣工された八間堀松高樋管まで様々な時代の文化財も見ることができます。中でも新利根川碑の「亀跌(きふ)」と言われる亀をモチーフにした台座は、美術的にも貴重なものとなっています。コース後半には、米どころに豊富な水を送る二郷半領用水路があります。

① 田島神社
(たじまじんじゃ)

旧田島村の鎮守で、香取神社です。境内にはカ石が残されています。カ石とは、カ比ベに使用した大きな石です。奉納者の名前や重さが刻まれています。かつては、神事、通過儀礼、あるいは娯楽としてカ比ベが行われていました。



▼カ石



② 八間堀松高樋管
(はちけんぼりまつたかひかん)

八間堀の水を中川へ排水する樋管です。中川が増水した時には逆流しないように水門を閉じます。大正15年(1926)に竣工され、改修されながらも当時の姿を残しています。



田島橋
橋長 40.2m
架設年 1958年



豊橋
橋長 60.9m
架設年 1970年



バス停 コンビニ トイレ カーブミラー

③ 庄内古川旧堤防
(しょうないふるかわきゆうていぼう)

庄内古川(現在の中川)は、かつて金杉で大きく東に曲り、江戸川に接するように南下していました。大正時代に、下赤岩で古利根川と合流するように改修され、現在の流路となりました。庄内古川の旧流路は埋められ、金杉側の堤防だけが道路として残されています。



⑤ 新利根川碑(しんとねがわひ)
(町指定有形文化財)

かつて江戸川と庄内古川は、金杉で合流しており、周辺は度々の洪水に苦しめられました。金杉村名主の飯島家を中心に、長年にわたって幕府に請願し、合流点を南に替える改修工事が実施されました。新利根川碑は、この工事の記念碑で、元文元年(1736)の建立です。「亀跌(きふ)」と言われる亀型の台座が印象的で、地元では河童石とも呼ばれています。



④ 十九夜供養塔
(じゅうくやくようとう)

月の出を待つ「月待ち」信仰の一つ、十九夜講に基づき建てられたものです。本尊は如意輪観音で、安産や子育てを願うものです。

